

ニュース

2023年10月1日号



ハイツの皆さん、こんにちは。桜ヶ丘ハイツまちづくり協議会からのお知らせです。

<お休み処から>

空を見上げると真っ青な空にうろこ雲、いわし雲、ひつじ雲等、秋の空ですね～
今年の夏は本当に暑い夏でした。この異常な気候を「地球沸騰」等と言われていますが、世界的に広がっている酷暑を表現するのにぴったりの言葉ですね。

これは自然界のことだけではなく、私達の身体の不調も引き起こしているらしいです。
★朝食が食べられない、★暑いところに出ても汗をかかない、★立ちくらみ、目まいがする、★眠れない、寝てもすぐに目が覚める等、これらは全て自律神経の乱れ、オーバーヒートが原因とのことです。対処方法として、★朝、常温水をコップ一杯一気に飲む、★入浴時シャワーで仙骨（背骨の最下部に位置する）を温める、★寝る前にゆっくり深い呼吸をする、といいらしいです。試してみてください。テレビの情報の受け売りですが・・・

さて「お休み処」では
9月4日（月）「健康講座」（6回目）でした。（25名の参加者）
前回到続いて3B体操でした。終わった後、皆さんから身体が良く動いて気持ちのいい体操だったと喜びの声を頂きました。興味のある方は、桜ヶ丘西集会所で月曜日午前中に教室を開いていますので、お問い合わせください。

こんにちは～
この夏の季節変化には
心身共に疲れたね 溜り疲れは
早く追い出しましょ。夜、睡眠とお風呂で
軽やかに 楽しい秋を 迎えましょ。
さて、今回は「お休み処」へ 改めてお迎えを
高田洋子さんに 茶点と腹話術をお楽しみして。
どきをお楽しみして～。

日時:10月16日(月)
13:30～15:30
桜ヶ丘ハイツまちづくり協議会
会場:200円(茶点代)

お申し込み先
桜ヶ丘ハイツまちづくり協議会
吉川(64-0850)
天田(64-0278)

お休み処
「五平餅パーティー」
食欲の秋ですわね。
長いと中止してしまいましたが「五平餅パーティー」
10月6日、皆さんからお声かけのしるしに
再開することにしました。
桜ヶ丘の皆さんと協賛をします。小澤と炭火で
焼くので美味しく思われますよ。
たくさん食べに来て下さいね！

お申し込み先
ちよと控室に
お申し込み先
桜ヶ丘まちづくり協議会
「お休み処」
野田 64-2720
小澤 64-3175

日時:11月6日(月)
13:30～15:30
会場:桜ヶ丘まちづくり協議会

今後の予定

- 10月 2日（月）健康講座（7回目）です。（前月号でのお知らせ済み）
可児市から紹介いただいた理学療法士の先生に来て頂きます。
- 10月 16日（月）「腹話術と手品」です。（ちらしをご覧ください）
お休み処初登場です。お楽しみに！
- 11月 6日（月）「五平餅パーティー」です。（ちらしをご覧ください）
都合により健康講座を変更して、久しぶりに食べ物を提供することにしました。少しずつですが楽しいイベントが出来るといいなと思っています。
「お休み処」はどなたでも予約なしで参加して頂けるお茶サロンです。
暑さもようやく和らいできて、外出し易くなって来ました。夏の間控えていらっしゃった方もぜひご参加下さい。お待ちしております。
お問合せ先 小澤 64-3175 又はお近くのスタッフまで

「ゼロカーボン」で地球沸騰化を止めて！～今私たちに出来ること～（1）

今夏、私たちは身体で、五感で、突き刺すような猛暑を実感しました。日本の7月、8月は観測史上最高の酷暑になりました。地球全体が猛烈な暑さになり、森林火災、洪水、高温、熱波、干ばつ、豪雨、水床崩壊、海面上昇^{*1}、永久凍土の融解…、この事態に国連のグレース事務総長は「気候変動はここにある。そして、始まりに過ぎない。地球沸騰の時代が来た」と世界の国々、人びとに気候危機への具体的な行動を呼びかけました。気候変動問題は、CO₂をはじめとする温室効果ガス排出によって気候や生態系、社会経済、暮らし、働き方など、広範囲にわたる地球的地域的な問題です。

2018年、国連気候変動に関する政府間パネル（IPCC）は「1.5℃温暖化に関する特別報告書」を公表。これによって1.5℃は単なる努力目標ではなく、本気で目指すべき目標になりました。2021年9月にIPCCは「人間の影響が気候システムを温暖化させてきたのは、疑う余地がない」と言明。更に2023年春、IPCCは報告書を発表。産業革命前に比べて1.1℃上昇しており、このままでは2030年までに1.5℃を超えるとし「この10年の対策が数千年先まで影響する」と危機的内容を伝えました。世界気象機関（WHO）は、2027年までの5年間に1.5℃を超える可能性があると発表しています。

1992年6月、ブラジルのリオデジャネイロで国連・地球環境サミットが行われ、200近い国々が参加した中で、気候変動条約と生物多様性条約が締結されました。その場で、日系カナダ人で12歳のセヴァン・カリス・スズキさんは6分間の伝説のスピーチを行いました^{*3}。「争いをしないこと」「話しあいで解決すること」「他人を尊重すること」「ほかの生き物をむやみに傷つけないこと」「分かちあうこと」…彼女のスピーチは、30年余の今日においても「輝き」、殺しあう政治を厳しく批判しています。

気候変動が異常な状態であることから積極的に地球温暖化対策を取り組む意思表示として気候非常事態宣言（日本で132の自治体、世界では2,000以上の行政機関）、ゼロカーボンシティ宣言（2023年6月30日現在、973自治体）が発せられています。可児市は2022年7月に宣言し、今年の7月に「可児市ゼロカーボンシティ推進計画」を出しました。2013年比2030年CO₂削減46%、2050年ゼロの実現に向けて、市民と行政の協働の「気候市民会議」がいくつかの自治体で作られてきています。地球沸騰化という地球的地域的課題に私たちに何が出来るのか。「気候市民会議」の取り組みを紹介しながら考えていきたいと思います。（続きは次号で）

*1 現在の世界の海面上昇は全体の4分の1が氷床の融解によるもの。この比率は1990年代から5倍に増えている。世界人口の4割が沿岸地域に生活している。ツバルやバヌアツなどの島嶼国では、海面上昇が深刻な事態になっている。

*2 国連気候変動に関する政府間パネル（IPCC）とは、気候変動に関する科学的知見の集約と政府などへの情報提供を担う国際機関。

*3 <https://www.youtube.com/watch?v=5g8cmWZOX8Q>

参照資料：雑誌『世界』（2023年10月号 岩波書店）「特集1 瀕死の温暖化で融解が進むグリーンランドのスタア氷河 1.5℃目標」



<桜ヶ丘部会から>

★ 桜ヶ丘部会では、偶数月に「定例会」を開いています。今回は10月14日（土）18時00分～19時30分、桜ヶ丘地区センター2階会議室で行ないます。参加は自由です。

<ミライ部会から>

★ ミライ部会では、奇数月に「定例会」を開いています。今回は11月11日（土）18時00分～19時30分、桜ヶ丘地区センター2階会議室で行ないます。参加は自由です。